

あい mamaさんから寄せられた体験談の2話目です。

出産翌日新生児室に行き、我が子と改めて面会しました。正直「こんな顔だったっけ？」とまるで他人の子のような感覚。

動物を抱っこしてるようで可愛いなと思いながらも扱いに困り、早々に助産師さんに渡してしまった。こんなことでいいのかな？私は変なのかな？と自問自答するように・・・。

入院は大部屋で、朝昼は食堂に行って皆で食事しました。同室の人と話しているうちに、陣痛であんな辛い目に遭ったのは自分だけじゃないんだ・・・と。

我が子との対面を感動的に話す人もいましたが、想像してたより全然冷静だったという人もいて、これを聞いて少しホッとしました。

次に待ち構えていた難関はおっぱいのこと。3時間ごとに授乳室に通っての授乳は苦痛でした。部屋は狭くいつも混みあっていました。シーンとした中、うちの子が泣き出したらどうしよう・・・という不安。

手際の良いママがさっさと授乳を終えて行ってしまう姿を見て焦る自分。

「また最後になっちゃった・・・」

そんな状態での授乳はうまくいくはずもなく・・・。やっと乳首を咥えてくれたのにすぐ疲れて眠ってしまう。なんで飲んでくれないの？と苛立ち、搾乳してもあまり出ないおっぱいに絶望感を抱き始める。

足りない分ミルクを足すと哺乳瓶からはゴクゴク飲む我が子を見て、やっぱり母乳では育てられないのかなと落ち込んでしまう。その反面、やっと授乳が終わった！これで部屋に戻って1人になれる！・・・という安堵もありました。

部屋に戻ると同室の人から「遅かったね。何かあったの？」と聞かれ、これも心が苦しい私にとってはかなりキツイ言葉でした。

部屋で1人になると、眠りたくてもなんだか動悸がして眠れない状態が続きました。

授乳室から逃げるように帰ってきてしまう自分に、楽しいはずの母子の触れ合いである授乳がこんなに苦痛でいいのかな？やっぱり私は産むべきじゃなかったんだ・・・と自分を責めるように。

次第に同室の人と顔を合わせるのも避けるようになり皆でする食事が苦痛になってしまいました。口を閉ざし暗い自分。ああ皆私のこと変だと思ふよな・・・。

親や兄弟、友達が面会に来てくれました。皆「おめでとう！」と自分のことのように喜んでくれる。でもその一番嬉しいはずの自分が嬉しくないどころか絶望感を抱いているなんて、どういうことだろう。必死に笑顔を作って「ありがとう！」と言う自

分。「赤ちゃん可愛いでしょ??」と聞かれ「うん」とぎこちなく答える自分。

幸せに見えるように、一生懸命になればなるほど辛かった。いっそのこと病院から逃げ出してしまうかと考えるほどまでになっていました。

産後3日目から、1日3時間だけでしたが母子同室タイムがありました。赤ちゃんとの至福の時間なはずが私にとっては地獄の時間に・・・同室の人達は、それはそれは幸せそうに赤ちゃんとの時間を過ごしていました。

私は我が子ながらどう扱って良いのやら戸惑うばかり。寝顔を見ると確かに可愛いけれど、起きて泣き出してしまったらどうしようと思う恐怖心の方が強いのです。少しでも寝て欲しい。しかし赤ちゃんはお腹がすけば泣き出します。泣き止ませようと焦れば焦るほど上手くいかず、おっぱいもうまく飲ませられない状態。

経産婦の人が手伝ってくれましたが、それも自己嫌悪と焦る原因になってしまう。逃げるようにして赤ちゃんを連れて授乳室に行くと、あまり人がいなかったので安心してそこで授乳しました。

そんなこんなで退院の日になってしまいました。病院で皆と過ごすのは苦痛で限界を感じていたので、少し安心したもの・・・こんな状態で子育てなど出来るのだろうか。やっぱり私は母親になるべきではなかったのでは？

どうしようもない不安で逃げ出したい自分、でも周囲の目もあるのでそんな自分を悟られないように必死で隠そうとする自分。誰と話しても心は上の空で頭に入っていない。雲の上を歩いているような感覚で常に動悸がする。

生きているのが苦しい。消えてしまいたい・・・。

(続く)